

2017衆院選の終盤情勢

終盤情勢調査では、序盤の流れを引き継ぎ、自民、公明両党が300議席をうかがう勢いを維持した。小選挙区での野党競合で政権批判票の受け皿が分かれ、与党を利する形は変わっていない。一方、新潟など野党や野党系無所属が候補者を

一本化した地域では、与党候補に先行したり、善戦したりするケースもある。序盤情勢調査で接戦だった114選挙区中、特に激しい戦いを展開する30選挙区を分析した。

(1面参照)

3極競合

海江田、広く浸透 東京1区

辻元が抜け出す 大阪10区

秋田2区(自)
金田 勝年 68○自前前
藤本 友里 38 共新
緑川 貴士 32○希自新
金田と緑川が競り合う。自民支持層の7割に浸透した金田が序盤と同じく小幅にリード。農林水産票や商工票も取り込んでいる。緑川は希望と立憲民主支持層のそれぞれ7割を固め、追いかける。藤本は独自色をアピールする。

埼玉6区(民)
大島 敦 60○希前
中根 一幸 48○自前前
戸口 佐一 67 共新
序盤で中根にリードを許した大島が逆転し、優勢に。希望支持層の9割超を固めたほか、立憲民主支持層の過半にも浸透してきた。専業主婦票も取り込む。中根は序盤に比べ自公支持層が減っている。戸口は左派票の獲得を進める。

東京1区(自)
松沢 香 39○希新
原口 実季 28 諸新
山田 美樹 43○自前前
又吉 光雄 73 諸新
海江田万里 68○立自元
犬丸 光加 57 諸新
序盤で山田にリードを許していた海江田が逆転。立憲民主支持層の9割を固めたほか、無党派層にも広く浸透。山田は自民支持層の7割、公明支持層の9割をまとめたが、無党派層の取り込みで後れをとる。最終盤に党幹部を投入してテコ入れを図る。

東京21区(自)
小糸 健介 35○社新
長島 昭久 55○希前
天木 直人 70 諸新
小田原 潔 53○自前前
長島と小田原が競る。長島は希望支持層の8割、立憲民主支持層の3割を固め、無党派層で優位に立つ。小田原は自民支持層の7割をまとめ、維新支持層にも浸透。6割弱しかまとめきれない公明支持層の取り込みを急ぐ。

神奈川4区(無)
山本 朋広 42○自前前
早稲田夕季 58○立自新
浅尾慶一郎 53 無前
風間 法子 47○希新
浅尾、山本、早稲田が三つどもえの混戦。無党派層を取り込み自民支持層の一

部にも浸透した浅尾が一步リード。自公支持層の過半を固めた山本が続く。早稲田は立憲民主支持層や共産支持層をまとめ追いかける。風間は埋没回避に全力。

神奈川16区(民)
義家 弘介 46○自前前
後藤 祐一 48○希前
池田 博英 54 共新
義家と後藤が競り合う。自民支持層の7割超を固めた義家がわずかにリード。序盤に比べ高齢者層に浸透してきた。後藤は希望支持層の8割超を固め、立憲民主支持層の半分近くも取り込む。池田は政権批判票の獲得に躍起。

滋賀3区(自)
小川 泰江 54○希自新
石堂 淳士 43 共新
武村 展英 45○自前前
武村が小川を逆転し、安定した戦いを展開する。自民支持層の9割、公明支持層の8割をまとめ、無党派層にも支持を広がった。小川は希望支持層の7割を固めたが、無党派層に浸透しきれない。会社員、女性票の半数が武村支持にまわっている。

京都6区(民)
山井 和則 55○希前
上條 亮一 31 共新
安藤 裕 52○自前前
安藤と山井が接戦。安藤は自民、公明支持層の7割をまとめ、自営業の支持が厚い。山井は希望支持層の9割を固め、政権批判票の受け皿となっている。無党派層は4割が投票先を決めておらず、動向がカギを握る。

大阪10区(民)
辻元 清美 57○立自前
大隈 和英 48○自前前
松浪 健太 46○維前
三つどもえの大混戦から辻元が頭一つ抜け出した。辻元は立憲民主支持層の9割、希望支持層の4割を固め、無党派層にも浸透しつつある。大隈は自民支持層を5割しか固めきれず、陣営の引き締めを躍起。松浪は浮動票の取り込みを急ぐ。

岡山3区(次)
尾崎 宏子 61 共新
内山 晃 63○希元
平沼正二郎 37 無新
阿部 俊子 58 無前前
序盤に続き、引退した前職の次男で新

人の平沼と前職の阿部がなお激戦。自民票は二分。平沼は農林水産業従事者を、阿部は主婦層をそれぞれ約4割まとめた。内山は希望支持層の4割、立憲民主支持層の3割を固めたが、支持拡大が課題。尾崎は政権批判票の取り込みを狙う。

岡山4区(自)
橋本 岳 43○自前前
柚木 道義 45○希前
平林 明成 62 共新
橋本が自民、公明支持層の8割を固めて逆転。会社員や主婦層の5割近くを取り込んだ。維新支持層の4割、立憲民主支持層の2割など野党票も奪う。希望に合流した柚木は無党派層の4割をまとめるものの、政権批判票は5割しか固め切れていない。

佐賀2区(自)
大森 齊 62 共新
大串 博志 52○希前
古川 康 59○自前前
序盤に続き、大串を古川が猛追。大串は無党派層の支持を2割から4割に増やして逃げ切りを図る。古川は農林水産業従事者の5割の支持を得る一方、公明支持層は5割にとどまる。共産党支持層を5割しか固め切れていない大森は引き締め躍起だ。

長崎1区(自)
富岡 勉 69○自前前
西岡 秀子 53○希自新
牧山 隆 60 共新
富岡と西岡が大接戦。序盤では西岡にリードを許した富岡だが、無党派層の3割を固めて僅差でトップに躍り出た。農林水産業従事者の5割、自営業者の6割も固める。西岡の政権批判票は6割にとどまり、取り込みを急ぐ。3割以上の浮動票への浸透が勝敗を左右する。

沖縄1区(共)
国場幸之助 44○自前前
赤嶺 政賢 69○共前
下地 幹郎 56○維前前
下地 玲子 59 諸新
赤嶺が国場を引き離し一步抜き出た。幅広い年齢層に浸透し、希望支持層の5割も取り込んだ。国場は自民支持層の7割、公明支持層の6割を集め、無党派層への支持拡大を狙う。希望と連携する維新の下地は、2割にとどまる希望支持層の取り込みを急ぐ。

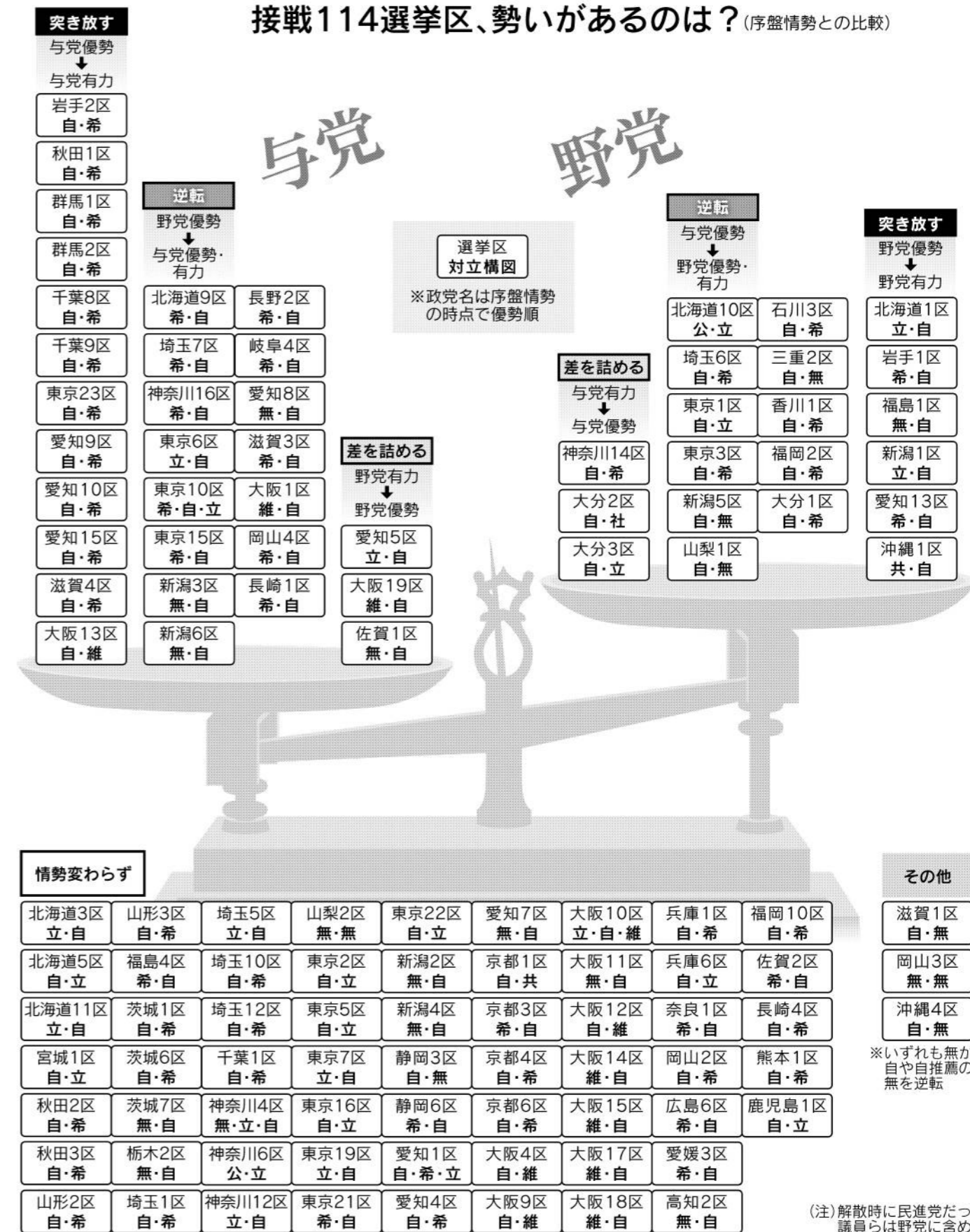
愛知7区(民)
山尾志桜里 43 無前
鈴木 淳司 59○自前前
山尾と鈴木が横一線の戦い。山尾は立憲民主支持層の7割、希望支持層の6割、共産支持層の4割をまとめた。鈴木も自民支持層の8割、公明支持層の7割を固めた。無党派層では山尾、女性票では鈴木がそれぞれリードしており、さらなる浸透が勝敗を左右する。

滋賀1区(自)
小坂 淑子 77○社新
大岡 敏孝 45○自前前
嘉田由紀子 67 無新
嘉田と大岡が激戦。序盤は大岡がややリードしていたが、嘉田が立憲民主支持層の8割、希望支持層の7割、共産支持層の5割、維新支持層の6割に浸透して逆転した。大岡は自民支持層の7割、公明支持層の9割近くをまとめ、無党派層の取り込みをめざす。

香川1区(自)
小川 淳也 46○希前
平井 卓也 59○自前前
序盤で平井にややリードを許していた小川が逆転したが、なお僅差で競り合う。小川は希望支持層の8割、立憲民主支持層の7割をまとめ、共産支持層の5割にも食い込む。平井は自民支持層と公明支持層の7割をそれぞれ固め、無党派層への浸透を急ぐ。

高知2区(自)
広田 一 49 無自新
山本 有二 65○自前前
広田と山本の激戦。立憲支持層の9割、

接戦114選挙区、勢いがあるのは？(序盤情勢との比較)



情勢変わらず

北海道3区 立・自	山形3区 自・希	埼玉5区 立・自	山梨2区 無・無	東京22区 自・立	愛知7区 無・自	大阪10区 立・自・維	兵庫1区 自・希	福岡10区 自・希	その他 滋賀1区 無・自
北海道5区 自・立	福島4区 希・自	埼玉10区 自・希	東京2区 自・立	新潟2区 無・自	京都1区 自・共	大阪11区 無・自	兵庫6区 自・立	佐賀2区 希・自	岡山3区 無・無
北海道11区 立・自	茨城1区 自・希	埼玉12区 自・希	東京5区 自・立	新潟4区 無・自	京都3区 希・自	大阪12区 自・維	奈良1区 希・自	長崎4区 自・希	沖縄4区 自・無
宮城1区 自・立	茨城6区 自・希	千葉1区 自・希	東京7区 立・自	静岡3区 自・無	京都4区 自・希	大阪14区 維・自	岡山2区 自・希	熊本1区 自・希	※いずれも無が自や自推薦の無を逆転
秋田2区 自・希	茨城7区 無・自	神奈川14区 無・立・自	東京16区 自・立	静岡6区 希・自	京都6区 自・希	大阪15区 維・自	岡山2区 自・希	熊本1区 自・立	(注)解散時に民進党だった議員らは野党に含めた
秋田3区 自・希	栃木2区 無・自	神奈川16区 立・自	東京19区 立・自	愛知1区 自・希・立	大阪4区 自・維	大阪17区 維・自	愛媛3区 希・自		
山形2区 自・希	埼玉1区 自・希	神奈川12区 立・自	東京21区 希・自	愛知4区 自・希	大阪9区 自・維	大阪18区 維・自	高知2区 無・自		

一騎打ち

山尾と鈴木横一線 愛知7区

北海道5区(自)
池田 真紀 45○立自新
森山 佳則 50 諸新
和田 義明 46○自前前
序盤に差をつけた和田がリードを保っている。和田は自民支持層の9割弱、公明支持層の7割を固め、組織票で優位に立っている。池田は立憲民主支持層の9割をまとめた。無党派層への支持拡大が課題で、最終盤で巻き返しを図る。森山は独自の戦い。

北海道10区(公)
稲津 久 59 公前前
神谷 裕 49○立自新
神谷と稲津が激しく争っている。序盤やや劣勢だった神谷が巻き返し、稲津をかわした。神谷は立憲民主支持層の9割弱をまとめ、無党派層の3割にも食い込んだ。稲津はほぼすべての公明支持層に加え、自民支持層の7割を固め、猛追している。

岩手2区(一)
畑 浩治 54○希自元
鈴木 俊一 64○自前前
五輪相の実績を訴え支持を広げた鈴木が安定。サラリーマン層の5割や自営業

の6割などから幅広い支持を得た。希望から出馬した畑は希望支持層の8割をまとめたが、支持拡大の勢いを欠いており、苦しい戦い。

栃木2区(民)
西川 公也 74 自前前
福田 昭夫 69 無前前
無所属で出馬した福田がリードを保っている。立憲民主支持層の8割、希望支持層の5割、公明支持層の3割からも支持を得た。西川はサラリーマン層の支持が3割にとどまるなど、苦戦気味。農業団体など組織票固めを急ぎ、巻き返しを狙う。

新潟5区(自)
泉田 裕彦 55○自新前
笠原 麗香 25 諸新
大平 悦子 61 無新前
序盤、泉田にリードを許していた無所属の大平が脱原発を訴え逆転した。立憲民主支持層の8割、希望支持層の5割を取り込んだ。泉田は前新潟県知事の知名度を武器に自民、公明支持層の7割を固めた。さらなる組織票のテコ入れで巻き返しを狙う。

福島4区(維)
渡辺 敏雄 68○社新
小熊 慎司 49○希自前
古川 芳憲 66 共新
菅家 一郎 62○自前前
小熊が僅差ながらリードを維持。希望支持層の8割を固めたほか、他党の支持層にも浸透する。追う菅家は自民支持層の8割弱を固めたが、連立を組む公明支持層の4割弱が小熊に流れ、同党支持層のテコ入れが課題に。

埼玉1区(自)
武正 公一 56○希自前
小椋山清人 60○維新
鳥羽 恵 58 共新
村井 英樹 37○自前前
村井が僅かながら先行を続ける。自民支持層の8割強をまとめ、会社員や主婦層からの支持を広げた。武正は希望支持層の8割弱を固めたが、序盤に比べて若干減らしている。同党支持層の固め直しに躍起。

東京10区(自)
若狭 勝 60○希前
鈴木 庸介 41○立自新
鈴木 隼人 60○自前前
岸 良信 42 共新
吉井 利光 35 諸新
小山 徹 42 無新
自民の鈴木が激戦から僅差ながら抜けて出る。同党支持層の7割弱、公明支持層の8割弱を固めた。追う立憲民主の鈴木は同党支持層の8割弱をまとめ、他党支持層にも浸透する。希望の若狭は逆転

西銘恒三郎 63○自前前
仲里と西銘が一進一退の攻防。序盤は西銘がわずかにリードしていたが、仲里が立憲民主支持層の9割、共産支持層の8割、希望支持層の5割を固めて逆転した。西銘は自民支持層と公明支持層の8割をそれぞれまとめたが、無党派層への浸透は1割にとどまる。

を許し、同党の支持層固めに躍起。
千葉1区(民)
田嶋 要 56○希自前
門山 宏哲 53○自前前
大野 隆 48 共新
長谷川 豊 42○維新
門山が田嶋を僅差でリードしている。門山は自民支持層の7割強をまとめた

が、公明支持層の一部が他候補に流れておりテコ入れを急ぐ。田嶋は希望支持層の8割弱を固めた。他党や無党派層での支持拡大に懸命。
長野2区(自)
手塚 大輔 34○維新
下条 みつ 61○希自元
中川 博司 59○社新
務台 俊介 61○自前前
務台が追い上げ、下条を逆転。自民支持層の7割をまとめたほか、無党派層でも支持を拡大している。追う下条は希望支持層の8割弱を固めたが、他党支持層が他候補に流れている。無党派層のテコ入れにも懸命。
奈良1区(一)
井上 良子 53○共新
小林 茂樹 53○自元
吉野 忠男 58○維新
馬淵 澄夫 57○希自前
馬淵と小林が激しく競り合う。馬淵は希望支持層の8割、小林は自公支持層の7割をそれぞれ固めた。馬淵は年配の有権者、小林は若年層を中心に支持を得ている。両者とも態度未定の無党派層の取り込みを急ぐ。吉野、井上が追う。

■ 一覧表の見方

選挙区 (前回当選の党派)	日経 花子 40○自前前
①	②③④⑤⑥⑦
①氏名。並びは届け出順。敬称略	②投票日(22日)翌日時点の年齢
③○は小選挙区と比例代表の重複立候補を示す	④党派の略称は自=自民党、希=希望の党、公=公明党、共=共産党、立=立

■ 調査と予測の方法

調査は読売新聞社と協力して実施した。基礎データのみ両社で共有し、それぞれが独自に集計、分析、記事化した。小選挙区289のうち、序盤情勢調査で接戦だった114選挙区を選定。日経リサーチが17~19日、乱数番号(RDD)方式で無作為に選んだ114選挙区の有権者7万5336人を対象に電話をかけた。1つ的小選挙区で350人から有効回答を得るのを目指し、全体で4万5282人から有効回答を得た。回答率60.1%。
議席数の予測は、過去の調査と投票結果から予測モデルをつくり、シミュレーションをして獲得可能性がある議席の幅を推定。電話調査した114選挙区以外の選挙区も含めて本社取材網による情勢判断を加え、最終的な議席数を予測した。